



水についての理解を深めるために
出前講座を実施しています



私たちが水のことを
分かりやすく伝えます!!



▲出前講座を行う業務課の皆さん

市上下水道部では、市内の小学校を中心に、水に関する理解を深める出前講座を実施しています。講座を行う際は、ろ過池の効果を実感できる簡単な実験も取り入れ、講座を楽しめるよう工夫しています。

水の大切さを伝える



ながやま さあや
永山 紗彩さん (鶴峰小4年)
水について意外に知らないことばかりでとても勉強になりました。これからは、限りある水を大切に使うよう気をつけたいです。



にしぞの そうた
西園 蒼太さん (大始良小4年)
ろ過池装置の実験が面白くて、汚れた水がきれいになるのがびっくりしました。これからは、水を出しっぱなしにせず、大切にしたいです。



▲講座の最後は全員参加のクイズで児童も大喜び

水のある生活を守る



▲公道の配水管漏水工事の現場。市内で漏水は年間約120件あり、迅速な対応により水の供給を保っています。

皆さんが水を毎日安心して飲むよう、関係機関が連携し、日々様々な業務を行っています。「蛇口をひねれば水が出る」という当たり前の裏側で、水を守る人たちが、私たちの暮らしを支えています。

"もしも"に備えて



1人1日3リットルの水を3日分用意しましょう



× **3**日分



▲昨年の受賞式の様子



▲最優秀賞作品
しんばらなのは
新原 菜希花さん
(寿北小4年) ※当時



▲断水地域への組立型給水タンク設置の様子
(小野原町)



▲水道水は15℃以下に冷やすとおいしいですが、冷やしすぎには注意しましょう。

検査30項目
約100円 / 2ℓ

検査51項目
約0.28円 / 2ℓ



厳しい水質検査と安全な水の供給

私たちが毎日飲む水を、安全な飲み水として供給するために、日本は世界一厳しい51項目もの検査項目を定め、定期的な検査を行っています。

皆さんがお店などで買うミネラルウォーター。ペットボトルの水は、検査項目が30項目と水道水より少ないです。さらに水道水は2ℓあたりおよそ0.28円とお店で買う水に比べて非常に安いです。水道水も冷やして飲めば、より安価で何よりも安全なおいしい水に変身します。

断水地域に組立型給水タンクを設置

今年九州地方を襲った7月豪雨により、断水した地域に緊急対策として、組立型給水タンクを設置しました。災害等により、一時的に水道が使えなくなっても水が供給できるように体制を整えています。

水について考えてみましょう

水の使用が多くなる8月。国は、毎年8月1日を「水の日」、その後1週間を「水の週間」と定めています。また、災害等に備え1人3ℓの水を3日分用意するよう呼びかけています。

市では、水道について考える機会を設けるため、市内の小学4年生以上を対象に「水道ポスターコンクール」を実施しています。水は、私たちの生活に欠かせません。この機会に、私たちの生命を育む水について考えてみましょう。

8月1日(土)は
水の日
水について考えてみましょう



市業務課
Tel. 0994-43-2800

上下水道部業務課
いたやま 板山主任主事